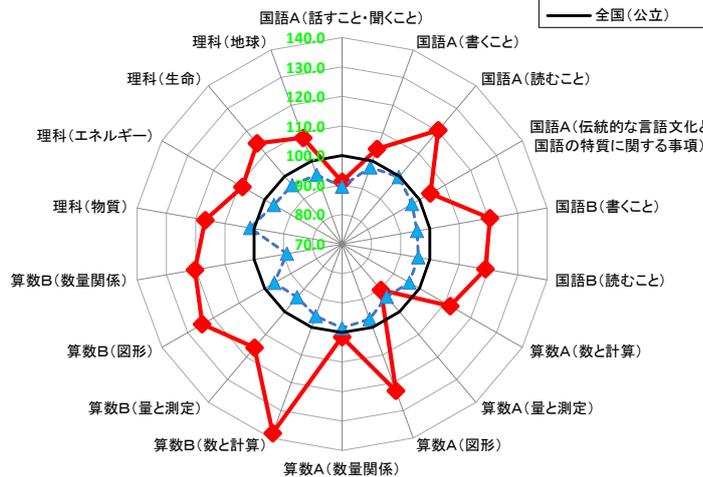


■ 鶴居村内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3、児童数:29名)

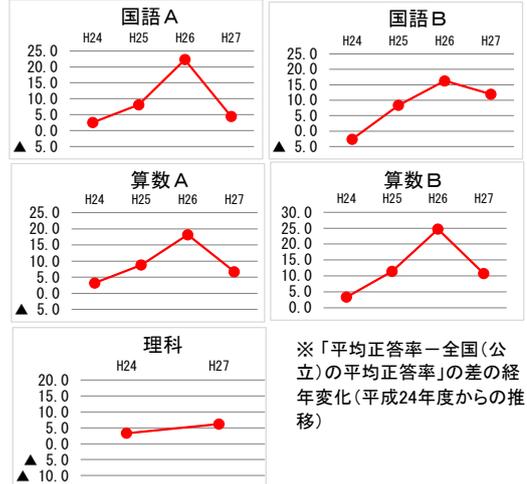
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

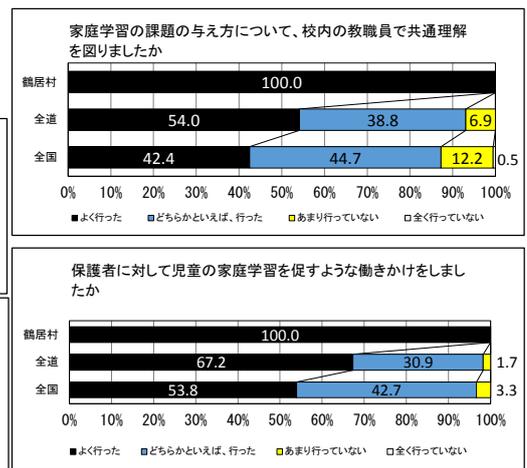


【平均正答率の全国との差の推移】

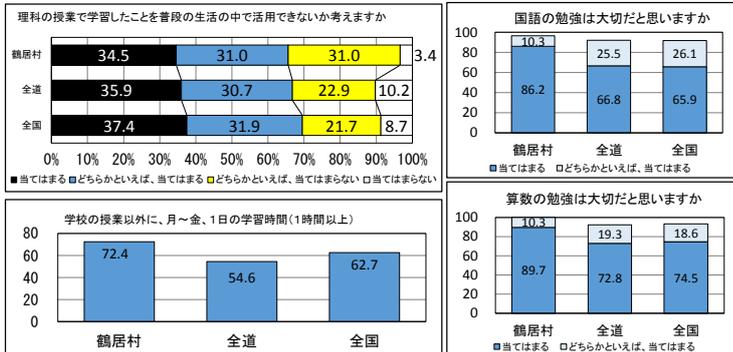


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化(平成24年度からの推移)

【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教科で全国平均を上回っている。 ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」を除く全ての領域で全国及び全道を上回っている。 ○ 国語Bでは、全ての領域で全国及び全道を上回っている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」を除く全ての領域で全国及び全道を上回っている。 ○ 算数B及び理科では、全ての領域で全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校の特色や地域の実態を踏まえ、各教科等の年間指導計画を作成し、児童に身に付けさせる力を明確にして授業改善を図るとともに、全教職員の共通理解の下、教育活動を推進する。 ○ 「主として知識に関する問題」に課題が見られたことから、日常の授業において定着の時間を確実に位置付けるとともに、繰り返し指導の徹底を図る。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語及び算数の勉強は大切であると回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 ○ 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えると回答した児童の割合が全国及び全道を下回っている。 ○ 授業以外に1日1時間以上学習する児童の割合が全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習では、教職員の共通理解の下、取組を推進したり、保護者と連携したりしたことにより、家庭学習の習慣化が図られている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「家庭学習の課題の与え方について、全教職員で共通理解を図っている」「保護者に対し、児童の家庭学習を積極的に促すような働きかけをしている」と回答している。 	

【鶴居村の学力向上策】

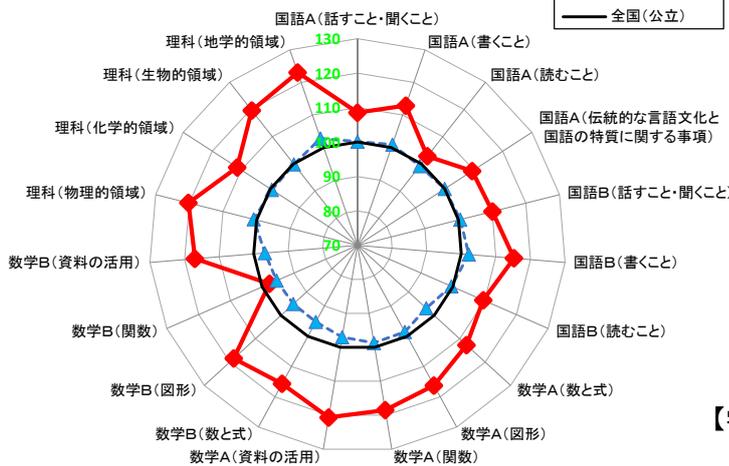
- ◎ 学力向上システムを確立するため、各学校のPDCAサイクルの見直し・改善及び鶴居村教育委員会と学校間の連携を密にした体制の強化
- ◎ 教職員の資質向上を図るため、「各学校における校内研修」と鶴居村教育研究所が連携した体制の確立
- ◎ 学習環境の一層の充実を図るため、鶴居村教育委員会の支援及び学校と家庭が一体となった取組の推進

■ 鶴居村内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:26名)

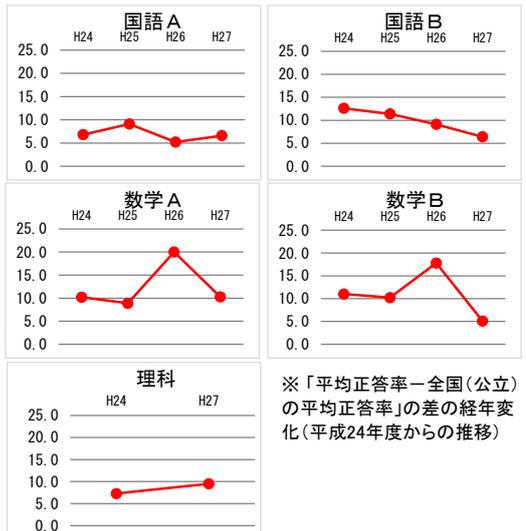
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

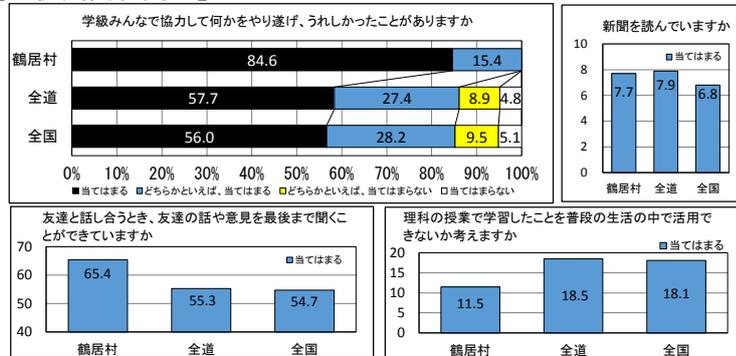


【平均正答率の全国との差の推移】

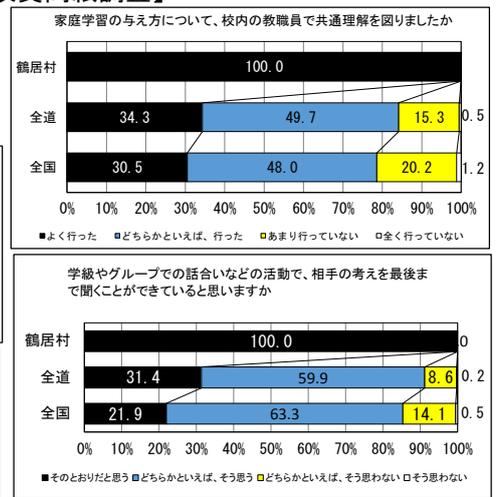


※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化(平成24年度からの推移)

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教科で全国平均を上回っている。 ○ 国語A、国語B、数学A、理科では、全ての領域で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学Bでは、「関数」を除く全ての領域で全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の実態や状況を具体的に把握し、教育課程を不断に見直すなど、教職員が本校の課題について共通理解を図り、教員一人一人の指導力の向上に向けて授業改善を推進する。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物事を最後までやり遂げようとしたり、学級全員で協力して何かをやり遂げたりしようとする意識が高い。 ○ 学校の授業以外に読書をする時間が短く、新聞を読む機会が少ない。 ○ 自然の中で遊んだことや自然観察をする機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るため、更なる授業改善に努めたり、「ほっかいどうチャレンジテスト」や補充学習などを着実に実施したりしていく。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の課題の与え方について、教職員間で共通理解を図っている。 ○ 学級やグループ内での話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞こうとするなど、学習規律が確立している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において、話し合う活動を位置付け、考えを伝え合うことを意識して指導したことにより、学級全員で物事をやり遂げようとする意識が醸成されたと考えられる。

【鶴居村の学力向上策】

- ◎ 学力向上システムを確立するため、各学校のPDCAサイクルの見直し・改善及び鶴居村教育委員会と学校間の連携を密にした体制の強化
- ◎ 教職員の資質向上を図るため、「各学校における校内研修」と鶴居村教育研究所が連携した体制の確立
- ◎ 学習環境の一層の充実を図るため、鶴居村教育委員会の支援及び学校と家庭が一体となった取組の推進